

二〇一〇年六月五・六日 土曜礼拝・第一・第二礼拝

主題・『ヤコブからイスラエルへ』 説教者：藤林いざや師

モットー 「徹底しよう」(二〇〇二年)

聖書箇所：創世記三二章二三節～三三節

(聖書箇所)

23 その夜、ヤコブは起きて、二人の妻と二人の側女、それに十人の子供を連れてヤボクの渡しを渡った。24 皆を導いて川を渡らせ、持ち物も渡してしまつた。25 ヤコブは独り後に残った。そのとき、何者かが夜明けまでヤコブと格闘した。26 ところが、その人はヤコブに勝てないとみて、ヤコブの腿の関節を打つたので、格闘をしていくうちに腿の関節がはずれた。

27 「もつ去らせてくれ。夜が明けてしまつから」とその人は言ったが、ヤコブは答えた。

「いえ、祝福してくださいまでは離しません。」

28 「お前の名は何といつのか」とその人が尋ね、ヤコブですと答える。29 その人は言った。

「お前の名はもうヤコブではなく、これからはイスラエルと呼ばれる。お前は神と人と闘つて勝つたからだ。」

30 「どうか、あなたのお名前を教えてください」とヤコブが尋ねると、「どうしてわたしの名を尋ねるのか」と言つて、ヤコブをその場で祝福した。

31 ヤコブは、「わたしは顔と顔とを合わせて神を見たのに、なお生きていく」と言つて、その場所をペヌエール(神の顔)と名付けた。

32 ヤコブがペヌエールを過ぎたとき、太陽は彼の上昇した。

(聖書解説)

A (聖書の読み方) 名前＝実体。「名前」は、その人物の

性格や生き方を表す。

・ヤコブ＝人の足を引っ張る者、だます者

・イスラエル＝神と闘つて勝つた者(勝利者)、神の王子

B (徹底的に求める) 《祝福してくださいまでは離しません》ヤコブは、闇の襲撃者が神の使いであると気付いて、必死で祝福を求めていった。彼が求めた祝福とは、物質的なものではなく、自分の心が変えられ、新たな生き方をすることであった。

C (会話の意味) 「お前の名前はなんというのか？」

「お前はどんな人間か？(自己理解)」

「今までどんな人生を送ってきたのか？(過去)」

「()です。」

「私は人の足をひっぱり、出し抜く者です。(自己理解)」

「人をだまして生きてきました。(過去)」

D (会話の意味) 「お前の名はもうヤコブではなく、こ

れからは()と呼ばれる。お前は神と

人と闘つて勝つたからだ。」

「お前はもう、過去の失敗に縛られて生きる必要はない。

もう、人をだまして、出し抜いて生きていく人間ではな

い。お前こそ真の勝利者、神の王子だ！」

E (ペヌエル体験の意味)

古代人の常識「神の顔を見る体験」必ず)

ヤコブは神と出会い、一度死んで、もう一度生まれたような体験をした。

C・ヤコブ D・イスラエル E・死ぬ

メッセージポイント

() 体験の中で、必死で

神の祝福を求めよう。

参照)詩編34 賛歌。ダビデの詩。ダビデがその子ノアブサロムを逃れたとき。】

32 主よ、わたしを苦しめる者はノどこまで増えるのでしょうか。多くの者がわたしに立ち向かい、多くの者がわたしに言います／彼に神の救いがないものか。セシ

4 主よ、それでも／あなたはわたしの盾、わたしの栄え／わたしの頭を高くあげてください。5 主に向かって声をあげれば／聖なる山から答えてくださいます。セシ

6 身を横たえて眠り／わたしはまた、目覚めます。主が支えていてくださいます。7 つかに多くの民に包囲されても／決して恐れませぬ。

参照)「コリント」2:6 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分で

ある。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

New Creation ()

としての生き方を徹底的に求めよう。

参照)「コリント」5:17 だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。